

2022年2月22日

三笠ジオパーク推進協議会
会長 西城 賢策 様

日本ジオパーク委員会
委員長 中田 節也



第44回日本ジオパーク委員会審査結果通知書

2022年1月28日に行われた第44回日本ジオパーク委員会において、貴地域は再認定となりました。その審議の過程における貴地域に対する委員会からの意見をまとめて、ここに通知します。

【総評】

前回の指摘事項に対して改善を図るとともに、特に教育旅行を積極的に展開している。また、炭鉱遺産の学術調査にジオパークのグッズ売り上げが充てられており、ジオパークによる収益が地域の遺産の調査進展に寄与した事例として高く評価できる。運営体制については、充実した事務局スタッフ数が確保されるとともに若手人材育成にも力を入れており、今後の新たな活動展開に期待が持てる。一方で、アンモナイト化石を多く含む蝦夷層群については、現在の三笠の人々が住む大地の形成や、自分たちの暮らしにどのように関わっているのかなど、地域住民に対してその価値の浸透が十分でないなどの課題も残されている。

【優れている点】

- ・ジオツーリズム、教育活動に関して過去最高の集客人数となっており着実に成果を出している。
- ・炭鉱遺産の学術調査にジオパークのグッズ売り上げが充てられている。
- ・情報通信技術（ICT）を活用した取り組みなど多様な媒体にて多くの情報発信している。イオン三笠店でのジオパークの情報発信拠点や「GEOPARK NEWS」の作成には事務局若手スタッフが関わっており人材育成の点でも意味がある。
- ・「事前、当日、事後」の学習素材を備えるなど学校教育や教育旅行を中心に質の高い取り組みが行われ、そのプロモーションにも力を入れている。
- ・炭鉱時代を中心とした当時の様々な様子を、図面・写真等を活用し聞き取り、それらがGoogle Map上で活用可能になるなど、炭鉱の記憶記録事業が継続されている。
- ・11名のスタッフと充実した事務局体制の下、若手人材育成にも力を入れる工夫をしている。
- ・地域ESD活動推進拠点としての登録や、SDGs達成度の見える化など、意識的に学ぶ機会を多数提供しており、今後は、SDGsの各ゴール達成への具体的な取り組みが期待される。

【今後の課題・改善すべき点】

- I できるだけ早く解決すべき課題（2年以内）

1. 拠点施設である博物館や道の駅に、道内ジオパークの紹介はあるものの JGN 全体の情報が無いので、地球科学的見どころも添えて全国のジオパークを紹介してほしい。
2. 蝦夷層群とアンモナイトの古生物学的な価値が、自分たちの暮らしや、暮らしている場所とどのようなつながりがあるのか、博物館での展示や解説など含め、分かりやすく捉えられるように工夫していただきたい。

II 中長期的に解決すべき事項

3. 全 45 サイトの総称として「ジオサイト」を使用し、その下に地形・地質サイト、文化サイトを用いている。地形地質的な価値を有するジオサイトと、文化サイトは異なるものであり、地域内のサイトの再整理が必要である。
4. 劣化が進んでいく炭鉱遺産の調査に関して、記録として残していくもの、法的な根拠をもつ保全措置を行うもの、劣化を緩やかにするための具体的措置を施すものなどの評価を行いながら具体的な保全を進めてほしい。
5. 協議会や事務局のジェンダーバランス改善について、内閣府や地方自治体が定めている男女共同参画基本計画などを参考に、早期の改善推進に努めてほしい。
6. 充実したスタッフ数が確保されている一方、教育旅行のガイド業務の比重が非常に大きい。ガイド業務はジオパークとして非常に重要ではあるものの、その比重が大きい現状は、まだ取り組めていない事業、あるいは取り組みが不十分な事業を生み出しているのではないか。ジオガイドの活用など、事務局スタッフが自ら行う部分と、ステークホルダーができる部分をうまく分担しながら、今後も持続的かつ質の高い運営が可能な体制を再検討していただきたい。
7. 貴地域では継続的な植生調査が行われてきている。そうした調査成果を生かしながら生態サイトの設定も進めてほしい。
8. 地域コミュニティの巻き込みを意識した連携イベントの開催などが増えている。今後はさらに、こうした機会を捉えてジオパークの理念、目的を共有し、ジオパーク活動を担える人材の育成にまで進めていただきたい。
9. ダムの建材が採取されてきた原石山などのサイトは防災、減災教育に有効と考えられる。一方で、採石は自然に対する不可逆的行為でもある。なぜ必要なのか、ジオ、エコと人類とのかかわり方について考えるきっかけとなるサイトの活用を期待したい。

以上で指摘した点や現地調査で指摘された点を含め、今後どのように改善するか、人や予算の裏付けとスケジュールを明記したアクションプランの形で、半年以内に日本ジオパーク委員会に報告してください。それらの進捗については、4 年後の再審査の際の審査対象とします。

以上